

マラウイ通信

渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーワ県立病院

「ペットボトル」日本で私たちが普段使用している物と一見違いはありません。しかし、性能に若干の違いがあるようです。思い返せばマラウイ到着初日、スーパーでペットボトル入りの水を購入すると水が漏れていたのを思い出します。誰かが一度開けたのかと思いい二本目を手に取ると、それもまた水が漏れていました。確認するとフタには確かに開いた形跡はありません。しかし、少し指で強く押すとフタの部分から水が漏れてきました。月日が経ち今となるとペットボトルの水が漏れる事にも驚くことはありません。バックの中で漏れると大変なので確認が必要です。日本のペットボトルから水が漏れるなんて事は、よほどの圧をかけなければ起こりませんが、そんな普通な事も日本の凄さだと感じました。また、マラウイでは中身を入れ替えた水のペットボトルが道端等で日常的に売られています。もちろん悪質なものはありません。購入する側も中身が入れ替えられている事を知ったうえで（井戸水か水道水かは定かではありません）購入しています。このような事もあり、マラウイでは空きの容器にも大きな需要があります。バスの經由地などの田舎では「ギブミーボトル」と子供たちが空き容器を求め叫んでいます。時には、水を飲み干したと同時にボトルをくれと手を差し出してきます。

【少しの成果】以前にお伝えした屋外のゴミ問題や、薬局において少しではありますが変化が見えてきました。まず、屋外では確実にゴミが減りました。たまに私が自らゴミ拾いをするのですが、その光景はとても奇妙に見えたらしく、それが功を奏しゴミ拾いに対しても興味を持ってくれました。外の掃除をするスタッフ達とも毎日会話して距離を縮めることが出来た事も結果に繋がった要因の一つかと思えます。薬局においても以前は、机の上や床が散らかり放題だったのですが、私がその都度ゴミを拾いや片づけを続けていると他のスタッフもマネをし、少しずつ習慣づいてきました。説明だけで理解してくれないのが大変な点だと思えますが、地道なアプローチを今後も続けていきたいと思えます。



水以外にも調理用油、ガソリン、調味料など数多くの物がペットボトルと共有されています。そのような事もあり、マラウイのペットボトルの商品の中にはフタの上にラベルで封がされている物もあります。新品か再利用のボトルかを区別するためです。さらにペットボトルではなく、ただビニール袋に入れられた水や油も販売されています。マラウイ人はビニール袋に歯で穴をあけ器用に水を飲んでいきます。



（アボカド）日本の物よりも約30円ほどでも売られています。通年ではありませんが、この時期になると多くのアボカドが市場に並べられています。味も良く栄養価も高いのでお気に入りやすいです。

【後記】二年の任期を無事に終え日本へ帰る先輩隊員。大きな志を持ち新たに着任する後輩隊員。約三か月ごとに入れ替わる隊員に加え訓練所生活・マラウイでの配属先を合わせると、この一年間で本当に多くの人と出会う事が出来たと思います。これからの一年もきっと多くの人と出会う事が出来、そこからまた多くの知識や刺激を得る事だと思えます。職種や年齢、地域や学歴、または海外で働いてきた人など、様々な隊員と接して学ぶ事は底知れず、それだけでも価値があったなと思えるぐらいです。（先日着任した新隊員の中には他県庁の林務課の人と林務や猪の話で盛り上がりました。笑）そんな多種多様な人との出会いを大切に自分自身も成長したいと思えます。

【豚】マラウイでは豚や鶏を食用や販売目的で飼育している家が多くあります。最近では近所に子豚が出没します。その可愛さに癒されながら通勤しています。

